

## 諏訪之瀬島

### 概 況

28 日から 5 月 2 日にかけて火山活動が一時的に活発になり、この期間連続的な火山性微動が発生して、40 回の爆発的噴火を観測しました。

### 噴火活動の状況

爆発的噴火は、30 日の 1 回（3 月：1 回）、5 月に入り 1 日に 35 回、2 日に 4 回発生しました（図 4）。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、24 日、25 日、28～30 日に火山灰を含む噴煙が確認されました。集落での降灰はありませんでした。

### 噴煙活動の状況

中之島に設置している監視カメラ（諏訪之瀬島の北東約 25km）による観測と十島村役場諏訪之瀬島出張所による報告では、噴煙高度の最高は 29 日の火口上 1000m でした（図 3、図 4）。

### 地震・微動活動の状況

火山性地震の発生回数は、A 型地震が 7 回（3 月：8 回）、B 型地震が 80 回（3 月：129 回）と、やや多い状態で推移しました。火山性微動は 51 回（3 月：98 回）でした（図 3～5）。火山性連続微動が 28 日～5 月 2 日にかけて発生しました（図 4）。

### 火口の状況

2 月 16 日に海上自衛隊鹿屋航空基地救難飛行隊の協力を得て実施した上空からの観測において撮影した写真を検証した結果、御岳火口内に新しい火孔が形成されているのを確認しました（図 2）。また、京都大学防災研究所附属火山活動研究センター及び鹿児島大学理学部附属南西島弧地震火山観測所が、4 月に行った現地調査でも御岳火口内に新しい火孔が形成されているのが確認されています。

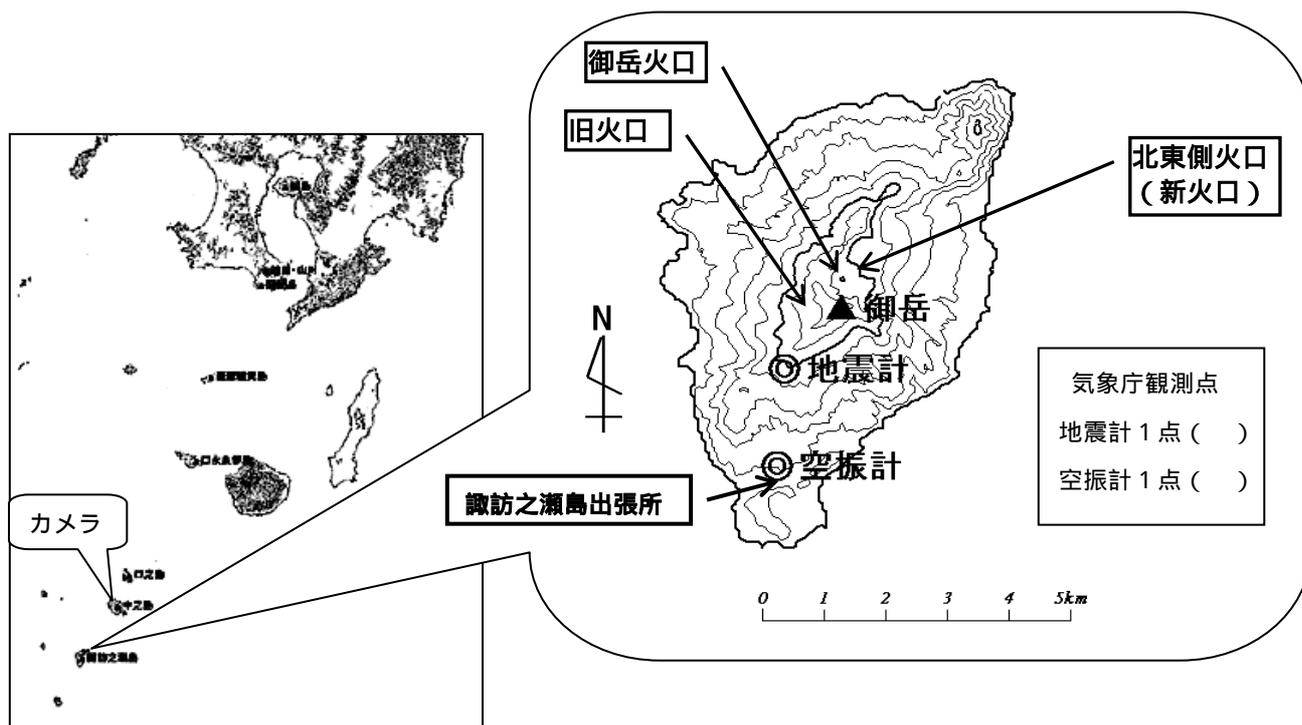


図 1 観測点位置図



図 2 上空から見た御岳火口(本年 2 月 16 日撮影)  
破線で囲んだ箇所が、今回確認された新火孔

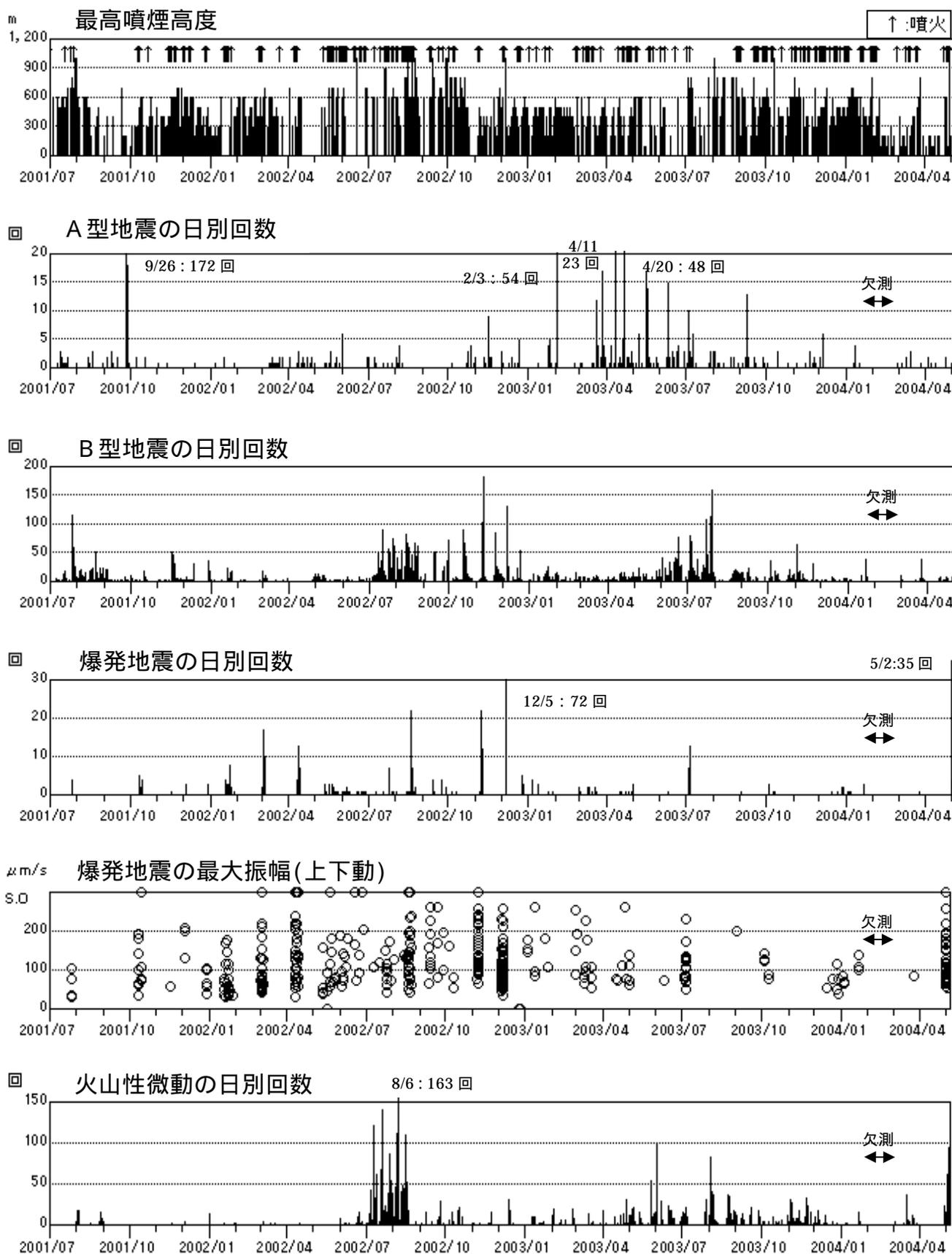


図3 火山活動経過図(2001年7月～2004年5月5日)

2004年1月22日から2月26日まで地震計データ伝送機器故障のため欠測。  
 2003年3月28日以降、最高噴煙高度は監視カメラによる観測値と十島村役場  
 諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を表している。

諏訪之瀬島

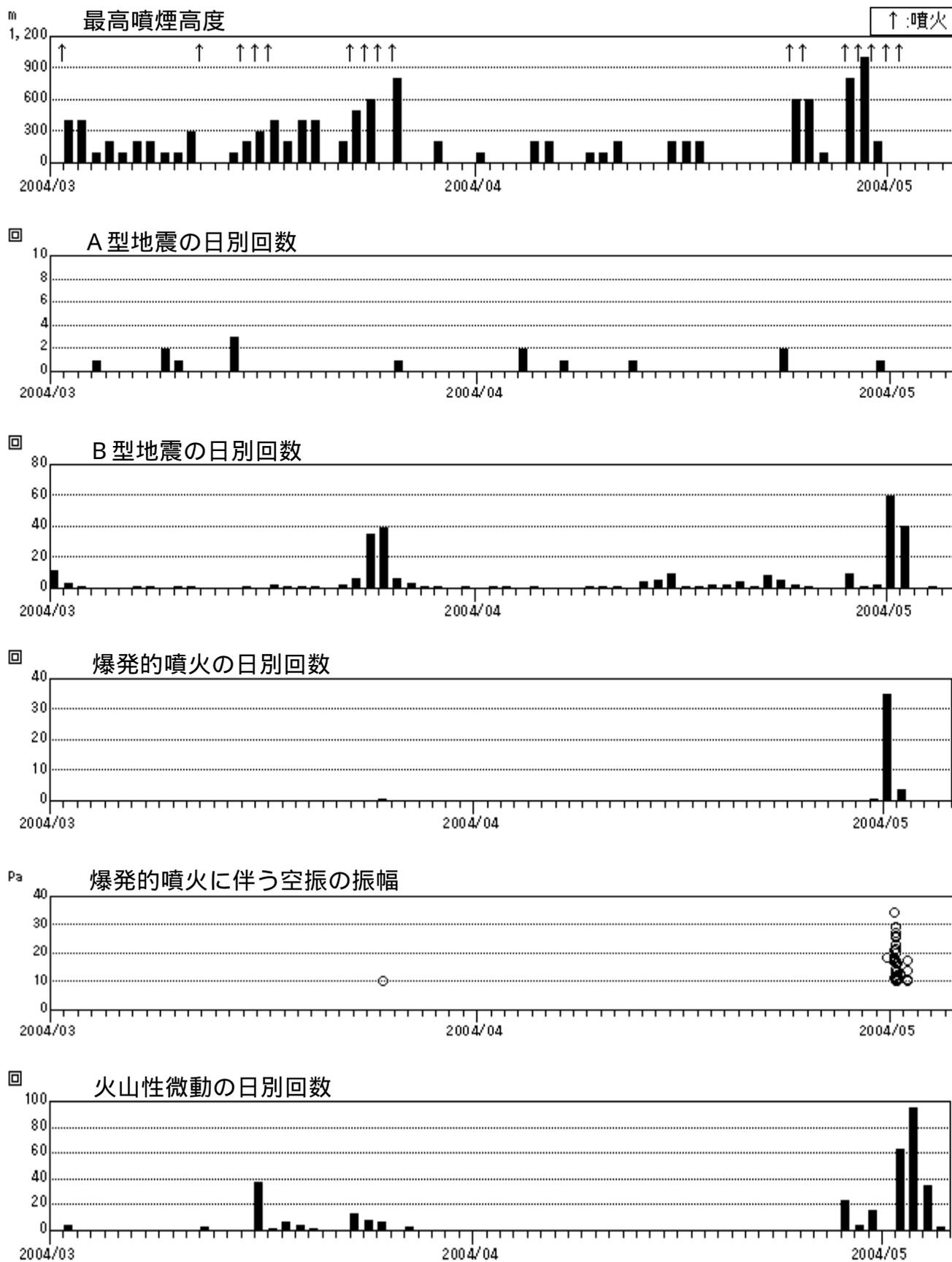


図4 火山活動経過図(2004年3月1日～5月5日)

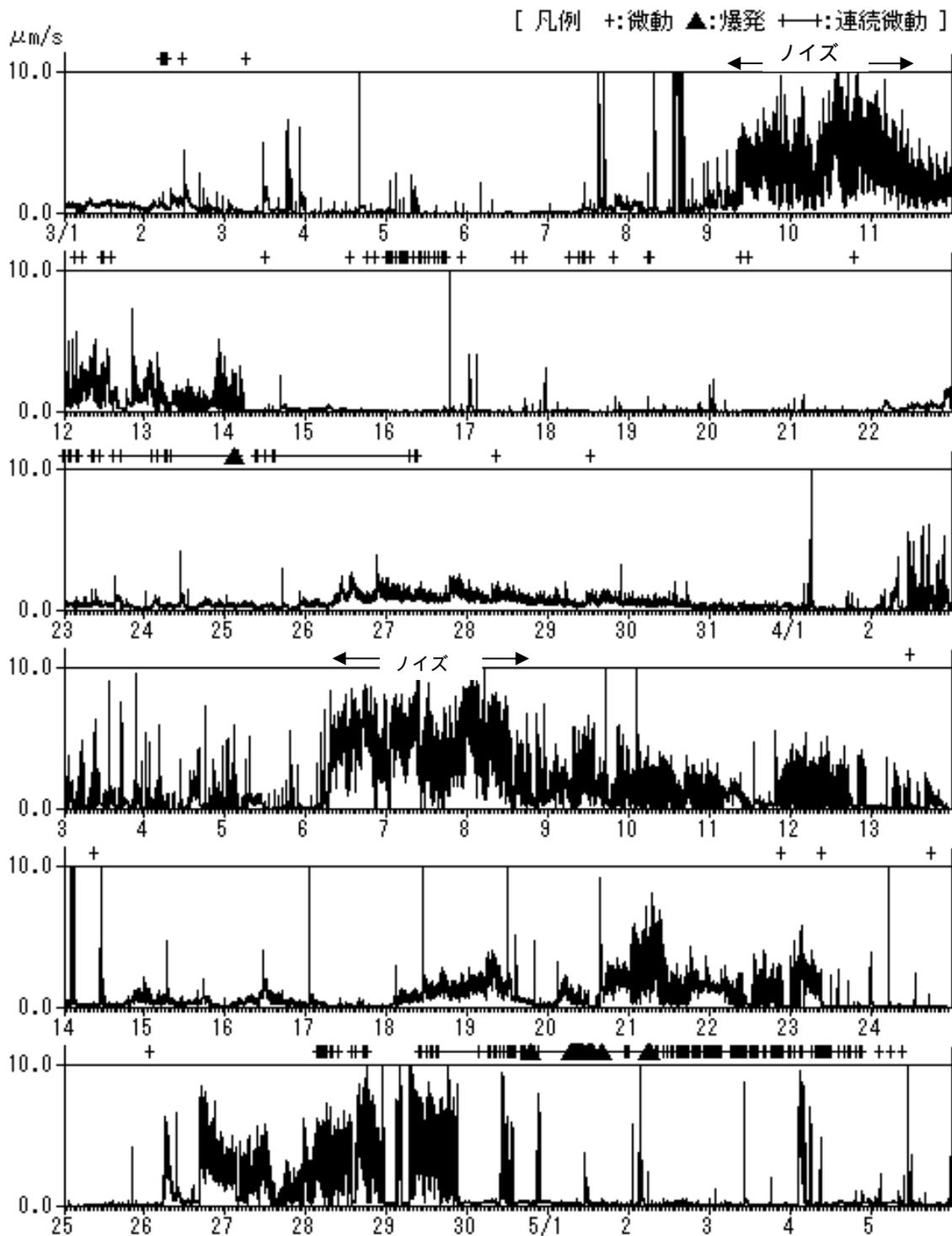


図5 地震計(上下動)の1分間平均振幅の変化(2004年3月1日～5月5日)